

お だ じょうようすい

⑰小田 定 用水

北ノ庄庄屋丸子市郎兵衛・市兵衛親子により、明暦3年（1657年）に一里二丁二十間（約4.2km）、幅一間余（2m）の農業用水路として完成し、小田の美田（約50ha）誕生。小田地区に現存し、取水口は、大田川に突き出た矢口瀬尻山の突端にあり、この付近には昔「五重の塔」があり「トウノダン」と呼ばれた。

